

## 平成 30 年度 第 2 回湯河原町総合教育会議会議録

日 時 平成 31 年 3 月 13 日（水）午後 1 時 30 分～ 2 時 30 分

場 所 教育センター 2 階 201 会議室

出席者（委員）町長、副町長、教育長、早藤委員、小松委員、貴田委員、西山委員  
（事務局）参事兼地域政策課長事務取扱、地域政策課副課長、企画係長  
（教育委員会事務局）学校教育課長、学校教育課教育指導担当課長、  
学校教育課副課長、社会教育課長、図書館長、美術館長  
（関係者）湯河原小学校長、吉浜小学校長

傍聴者 5 名

### 1 開 会

### 2 町長あいさつ

皆様こんにちは。

本日は、平成 30 年度第 2 回湯河原町総合教育会議ということで、皆様方にはお忙しい中ご参集いただきまして、本当にありがとうございます。

日頃より、教育全般、色々なお立場で、また色々なご経験からも町全体の部局全般をお手伝いいただく中で、事を進めているわけではございますけれども。

先日の中学校の卒業式にも、皆様方にもご参加いただく中で、無事に終わったことを大変嬉しく思うところです。

また、最近というのでしょうか、先日もニュースで群馬県前橋市の高校 2 年生の女性の方が、いじめによるというような、そんなことがありました。湯河原でも 4 月 10 日を忘れてはいけない日、というふうに思っているところでございます。学校教育のみならず、教育全体を考える中で、このような社会の中でどうあるべきか、というのは、悩ましいことはたくさんありますけども。

湯河原町におきましても皆様方の、この後案件も色々ありますが、情報をご共有いただく中で、学校教育を含め、教育全般の中の推進にお知恵やお力添えをいただくことをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

### 3 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。

本日は、第 2 回の総合教育会議のご開催、誠にありがとうございます。

また、富田町長におかれましては、先日の中学校の卒業式にご多用の中ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。また来週に幼稚園、そして小学校と続きますので、またよろしくお願いいたします。

さて、この総合教育会議でございますが、教育委員会からご提案させていただきました、保育園、それから幼稚園の外国語活動のご提案に対しまして、平成31年度の当初予算に計上いただきまして、実施することができました。重ねて御礼申し上げます。教育委員会といたしましても、今後も「教育大綱」の理念に基づいて事業実施を町長部局と連携しながら進めていきたいと思っております。

本日は、教育委員会からは、2020年の小学校プログラミング教育の導入に伴いまして求められております、ICT環境の整備についてご報告するとともに、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 4 案 件

(1) 平成30年度教育大綱に係る基本目標ごとの重点項目に対する検証について

…資料No.1

○資料No.1を説明（参事兼地域政策課長事務取扱）

○質疑

（教育長）

…この結果を受けまして、目標2の「小中一貫教育及び小規模校への対応の検討」という部分が比較的進んでいない部分がございます。それにつきましては、特に小中一貫教育については、議会の総務文教・福祉常任委員会でも視察をされ、今後意見交換会を開催しようということも決まっております。そして本格的にこの関係と、それから小規模校への対応の関係を進めていきたい、と考えております。現在は、小中一貫教育ではなく、幼保小中連携の教職員の研修、それから、中学校の先生が小学校へ行って教えるというようなことも実際にやっております。今後は、この小中一貫教育が湯河原になじむのかどうか、そういったことも考えていく必要があるのかなと思っております。

（町長）

…この資料No.1-4の縦軸は、取組みの数という単位で理解していいのか。

（参事兼地域政策課長事務取扱）

…取組みの事業数として捉えていただきたいと思えます。

（町長）

…わかりました。

(早藤委員)

…教育大綱を決めて、それに基づいて、実際の教育委員会の事業に対する検証とかをしていただいているのですが、この教育大綱の見直しというのはどういう頻度で今後考えているのか、その辺はどうなっているのでしょうか。

(参事兼地域政策課長事務取扱)

…資料No.1-1を1枚お捲りいただき、1ページ目をお願いいたします。こちらの、大きい項目の2番でございますけれども、現在の教育大綱の期間といたしましては、平成28年4月から平成32年3月までの4年間としております。したがって、見直しにつきましては平成31年度中に行うこととして考えてございます。

(町長)

…資料No.1-3の2枚目の上から2つ目の「青少年健全育成地域活動推進事業」は評価が赤のBになっているんですけども。これの背景というのは、もしわかれば事務方から説明をもらいたいだけですけども。これはマンパワーの不足とか、そういうことになるのですか。

(社会教育課長)

…こちらのBにつきましては、さきほど地域政策課長からもご説明がありましたけれども、事業の縮小というか、子どもが減ってきているので、なかなか事業ができないということ。それとあと、評価の見直しという面では、教育委員会の点検・評価の中で、評価の達成度というものがございまして、Aだと目標やねらいに沿った具体的な成果が表れているということでA評価とさせていただいたのですが、実際のところほぼ計画どおり実施できているのですけれども、概ね具体的な成果が上がっているという評価として、評価の見直しを行ったということが主な理由でございまして、AからBに下がってはいますが、Bは悪い評価ではございませんので、Aと同じかちょっと下がったという形で評価させていただいております。

(町長)

…その原因は、子どもの数が減ったことですか。

(社会教育課長)

…お子さんの減少です。

(町長)

…簡単には評価をつけられないのでしょうけど、資料No.1-3の2ページ目のその他で「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」には、いままで1,000人という数があるわけで。コミュニティのあり方が地域性だけではなくて、

変わってきている。「青少年健全育成地域活動推進事業」と「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」をくつつけることはできないかもしれませんが、ちょっとそんなこともこれから意識して、検証していったらと思います。延べ人数だから、普段どれだけのお子さんが多世代の居場所に来られているのか、というのはわかりませんが、結果的には延べで1,000人来ていたということはかなりの人数だと思います。

ですから、その辺といまの「青少年健全育成地域活動推進事業」項目とをくつつけるものなのか、比較するものなのかわかりませんが、実態としてそういう状況があるので少し意識するというか、そんな角度で見てもらって、その辺がくくりとして同じくくりになるのか、ならないのかも含めて、今後考えていってもらった方がいいのではないかという気がします。これは明日明後日の話ではないですけども、そういった意識を持ってもらいたいと思います。

(2) 湯河原町防災コミュニティセンターについて …資料No.2

○資料No.2を説明（参事兼地域政策課長事務取扱）

○質疑

（小松委員）

…いままで家庭教育学級の活動が町民体育館であったり図書館を借りて行われていたりしましたが、今後は205会議室で行われるようになるのでしょうか。

（教育長）

…どの程度の人数が入るかによって、いまだいぶ選択肢も広がってまいりましたので、そういった調整ができるのかなと思っております。町民体育館でやる場合もありますし、この防災コミュニティセンターでやる場合もあると思います。

（社会教育課長）

…小さいお子さんが一緒に講習の際にいらっしゃったりして、町民体育館ですと後ろで遊んだりしているということもございますので、参加人数によりましていろいろ検討をさせていただければと思います。

（小松委員）

…講演会などの時に小さいお子さんをエプロンママに預けて参加されることもあるので、小さいお子さんと絨毯敷きのお部屋があるといいなと思います。その時だけ広げるような形でも良いと思うんですけども。

（社会教育課長）

…現状では、教育センターをつかって、町民体育館で講義をしておりますけれども。講義の参加人数にもよりますが、防災コミュニティセンターの会議室につきましてもお借りして、託児を行いたいというふうに考えております。

(町長)

…その際の床の関係はどうするのか。

(社会教育課長)

…現状もマットを敷いて教育センターで託児を行っておりますので、同じような運用にさせていただければと思います。

(町長)

…おそらくこの関係は今後選択肢が増えてくると思います。例えば、町民大学も防災コミュニティセンターの方が良いかなとも思いますが、逆に図書館の方が行きやすいのかなとも思いますし。交通弱者というか、車の無い方はそうかなと。この辺は各事業によって、恐らくどちらを選択するかということになってくるかと思えます。ただ、間違いなく教育センターはなくなってしまいますので、この使い勝手は、それぞれの会議体というか、関わりでどういう方向性にするのか、おのずと決まってくるし、また検討してもらわなければならないと思います。

こちらの施設は災害時ということを前提に作っている施設でございます。災害は無い方が良いわけですが。

昨日、町民体育館の私の方の検査が終わりましたので、16機でしたでしょうか。エアコンがすべて設置をされましたので、災害時、またそれ以外でも体育館としてではありますけれども、暖と冷がとれるという状況になりましたので、特に災害時は一時的に避難する必要性が出た場合においては、寒かったり暑かったりの多少の対応はようやくできるような状況がととのいましたので、少し加えさせていただければと思います。

(早藤委員)

…3月中の完成を目指しているというふうに説明がありましたけれども、実際に教育委員会の移転はどのくらいの予定なのでしょうか。

(学校教育課長)

…教育委員会の方では現在、3月末に完成、4月上旬に引き渡しという予定を聞いておりますので、4月中の10連休の頭には引っ越し終わるような予定で計画しております。

(町長)

…教育委員会の引っ越しが終わればすべて、こういう会議も新しい施設に

なるということですね。

(教育長)

…5月からそうなります。電話やネットワークがその頃一気に切り替わりますので。

(町長)

…町民の方には意外とこの防災コミュニティセンターができて浸透するのに時間がかかると思いますので、また何かあればここを活用していただきたいと思います。わざわざ観光会館に行かなくても済む可能性もありますので、皆様のご協力をいただければと思います。

(3) 学校におけるICT環境の整備及びプログラミング教育について

…資料No.3

○資料No.3を説明(学校教育課長)

○質疑

(西山委員)

…予算的な措置をとるという部分で、てっきり私はこの整備等の部分だけ別途で支給するから、各自治体一所懸命子どもたちの情報教育環境整備をやってくれよということだと思ったのですが、どうやら違うようでして。

それからもう一つすごく気になったのは、資料No.3-3にあるように、各自治体をランク付けするみたいな表で示していて、他の県はこれだけやっているから、お前の町は足りないじゃないかと、そういうような形で何とかしろ、なんとかしろというような。これは日本の色々な作業的な部分もあるかと思うんですけれども。本当に情報産業的な部分を、国を挙げて育てていくという、そのための戦略が見え見えかなと。

ただ、そうは言ってもやはり、これから子ども達自身が生きていく中で、当然この部分は避けては通れないとは思いますが、出来る限り、反映させてほしいなと思うんですが。

あとは、実際に現場の声として、今日校長先生もいらっしゃると思うんですけれども、現場では差し迫った形でこういったものの整備が必要だということか。現時点で湯河原町自身は、県レベル、または全国的に見てもいわゆる平均値からするとちょっと低い部分があるんですけれども。現時点で、子どもたちの利用状況、それからもう一つはやはりそれをこなすために教員の様々な資質的なものも必要かなと思うんですけれども。

今の状況として、満足できるような使われ方なのか、それとも、もう目いっぱい状況でやっているのか、その辺を差しさわりのない範囲で少し

話していただけるとありがたいのですが。

(教育長)

…その前に少し補足させていただくと、湯河原町では現在、客観的に見て資料にあるような状況ですけれども、平成 27 年度に各小中学校にパソコン教室では整備をいち早くさせていただいた経過がございます。その段階で、タブレットを小学校で 1 クラス分、中学校ではパソコンを、というようなことで整備をいたしました。これは当時の学校における教職員の皆様のご意見を伺いながら、それまで整備されていたんですけれども、一新させていただいたんですね。ただ、それ以上に、他の市町村が進んで取り入れた部分もあったんです。ですので、その時点では決して湯河原町はそんなに遅れていたわけではないです。

(吉浜小学校長)

…新しい指導要領も学校で来年、再来年から全面実施ということで、今年、来年は移行措置ということなんです。とりあえず、今小学校の方では、道徳の教科化と外国語の方をまず、学校の方できちんと体制を整えようということ、今年準備をしてきました。ですので、ICTあるいはプログラミング教育そのものというのは、むしろこれから課題なのかなという感じがしています。

今年の吉浜小学校で言いますと、やはりこういったコンピューターにたけている職員はおりますので、その者を担当にしておりますけれども、算数とか理科で少し試行的にやってみているという状態で。来年度は、年間の中でどの教科でどういうことができるか、ということ計画を立てながら進めていくのかなというのをいま上の方で相談しているという段階です。

あとは、環境的には、平成 27 年度のときに導入をされた経緯は、私はわからないんですけれども、タブレットそのものは担当に聞きますとちょっと使い勝手が悪いかな、ということ聞いておりますので。まあ、機械そのものはどんどん進歩していくので、その辺を追いついていくというのは難しい部分があるんですけれども、環境整備はこれから大きな課題であり、当然お金もかかることですので、また町の方に色々ご協力を願うこともあるのかなと、そういう気持ちでおります。

(湯河原小学校長)

…湯河原小学校のプログラミング教育に関しては、吉浜小学校、また東台福浦小学校と同じような進め方をしているというふうに考えております。やはり ICT の環境の面で、確かに 4～5 年前に機器を入れたときはそれなりに良いもので入っていて使えていたんですが、世の中どんどん進んで

いて、インターネット環境を十分に使うためには、回線の太さがもっとないと、子どもたちが一斉に40台タブレットをつけて、それぞれの課題に沿った色々なサイトにつなごうとしたところ、急に動かなくなって、重たくなってしまおうという。当時はまだそういう使い方をしなかったのですが、ある程度できたのですが。LANのケーブルの問題にだんだんなくなってしまおうんですけど、一回引いたケーブルをもう一回引き直すとか、太くする、もしくはWi-Fi環境に頼るとか。

今年度、湯河原小学校はPTAさんのご協力もあり、Wi-Fi環境をある程度つけていただくことができました。それで、ケーブルに頼らない環境というところで、ある程度速度が出るっていうのをようやく今年度半分くらい終えました。全部は到底できないので、上の階だけはそうなるようにして、さあ、いよいよタブレットをどうしよう、というところになっているんですが。タブレットの方も性能を少しアップしていかないと、なかなか今のコンテンツが重たいもので。容量も大きいので、そのコンテンツを十分に活用できるのがどうかな、というところが、まだ完全にやってみるまでにいってないんですけども。ちょっと不安が残っている、そんな状況です。

(町長)

…ハード面とソフト面という問題。そして、ハードには財政が伴うというような、恐らくそういったくくりの話かなと思います。

(西山委員)

…私は、いま文科省で出させている平均値というか、これにとられることなく、やはり学校現場のそういった要望だとか、現時点で様々な課題があるかと思うんですけども。その辺りを十分受け止めた形で整備をしていくというスタンスでお願いしたいなと思います。

(早藤委員)

…確かに文科省の言うこともそうなんですけれども、昨年、教育長と一緒にオーストラリアのポートステューブンス市へ伺ったときに、向こうの小学校ではタブレットが当たり前で、ノートが逆に無いくらい。それを見ると、あまりにも日本が遅れているなとすごく感じました。電子黒板も当たり前で。

ですので、そういう意味では、確かに学校の中で道徳教育だとか外国語教育という目の前のものがあるとしても、これはやらざるを得ないので。当然こういうものが時代とともにどんどん新しくなっていくので、いつのものが良いのか、今年がいいのか、来年がいいのか、その辺はあるにして



も、そういった結論は出ないので、今できるもの、教育環境を整えるということは、やはりこれは行政の責任、教育行政としてもやっていくものだと思うので、できる限りそこは早急に環境を整えてもらう方向にしたいと思います、というふうに思います。

(貴田委員)

…私はコンピューター関係の仕事をしておりまして、その立場から発言をさせていただきますと、ICTの環境整備というのは、非常にお金がかかります。なぜかという、最初の初期導入に大変お金がかかるんですけども、常に更新していかなければいけないという、またそういうお金もかかりまして。少なくとも5年、5年でも遅いくらいで、3年に1回くらい更新していかなければならないものですので、非常にお金がかかります。ですので、企業とか利益を出さなければならぬところで、3年ごと更新していくんですけども、それが教育上、費用対効果という言葉はあまりよろしくないかもしれないですけども、それだけの効果が出るかといったところが重要じゃないかと、考えていかなければいけないかなと思います。ですので、どちらかというソフト面というか、それを使う側の更新が重要ではないかなと思います。

(町長)

…まとめることはなかなか難しいですが、いつどういう形で移行するのも含めて、基本的には方向性は同じということだと思います。そして、ソフト面というか、先生方の学校の現場対応がどのような格好になるのか、ということもあると思います。

逆に、私は専門的なことはわかりませんが、例えば、先ほどお話のあったWi-Fi環境のことですが、今度、5Gという仕組みが整備されたときに、これはランニングコストがかかるからどっちを選ぶかというのがあると思うんですけども。Wi-Fiをやればいずれつながるみたいなことが、実は無駄だったという可能性も出てくるとか、いくつかの面から、もちろん財政も大切なことですけども、整理していかないと、たぶん、とっちらかっちゃうのかなという気がします。その辺をしっかりとマネジメントしていくということが、まずは今日皆様のご意見を聞いている限りでは共通しているのかなという気がします。見切りのやっつけ、無駄な買い物をする可能性もありますし。これもよく環境整備、現場、そして社会全体がそっちへ向かっていますから、それに早くかかった方がいずれは良いのでしょうけども。この辺の整理というか、研究して、お金の問題はお金の問題として、切り離すとしても。また、文科省に対しても少し政治の立

場で、その辺をはっきりした財源の後押しみたいなものを要望していく必要もあるかなと。大きく分けると3つくらいの側面からこれは整理していく必要があるのかなという気がします。今の皆さんの意見をまとめるとそういう形かなと思います。

(教育長)

…携帯回線を使って実際導入しているところもあるようですね。将来的に経費的にもどちらが良いのかにもよって、検討していく余地があるのかなと思います。携帯回線を使いますとタブレットを外でも使えるんですよね。ですから、そうすると非常にメリットがあるかなと。

(町長)

…5Gが本格的に整備されると相当早くなるわけですね。4Gだって遅くはないでしょうけど。

ですから逆にWi-Fiをいちいち整備する必要もないのかなと。そうすると今度コストがかかってしまうという部分もあります。色んな問題が出てくると思います。

(教育長)

…工夫が必要になりますね。

(町長)

…ですから、これは文科省ありきではなくて、湯河原は湯河原としてどうあるべきかというのを、いまの意見をきちっといくつかの側面から研究を進めるといふか、手を付けないと間に合わないのではないかなと思います。ぜひ、私からもお願いしたいと思います。

## 5 その他

(町長)

…まだ確定してないのですが、学童の5月の10連休関係の概略をお話してください。

(社会教育課長)

…今年のゴールデンウィークは10連休ということでございまして、学童保育所につきましては、4月27日土曜日は通常通り開設することになっておりますので、その後9連休になりますが、その期間保育園と連携しながら、開所したいと思っております。日にちにつきましては、4月30日、5月1日、5月2日の3日間について、学童保育所を開設し、湯河原小学校の学童保育所に集約した形で開所させていただきたいと考えております。あらかじめ申込みいただくとか、少し条件はございますけれども、10連休

の対応といたしましては3日開所させていただきたいと考えております。

(町長)

…ということで、すべてを開くといくことはなかなか難しいので、あらかじめ可能性のあるものを整理して早めに利用者の方々にもお伝えして、やっといこうという整理になりました。保育園についても、おにわ保育園を開所して保育の希望がある人を集約してやっといこうと思っております。正しい情報はきちっと整理して出していきますけれども、庁舎の開庁については町民に非常に関係がありますのでそれはそれで広報を出しますけれども、学童や保育園については皆様方にもいまから既に段取りをしています、ということをお借りしてお伝えさせていただきます。

(教育長)

…町民体育館、ヘルシープラザの体育施設、それから図書館、美術館につきましては、10連休中も営業いたしますので、ご利用いただければと思います。

(早藤委員)

…国際交流協会として、湯河原駐在の外国人の方々に日本語の支援をしていこう、ということでやっているものですが、それが非常に人数が増えてきて、いま会場も教育センターも使えなくなるということで、城堀会館を使わせていただいている、その城堀会館が駅に近いということでとても良い形で実施できています。おかげ様で、ボランティアの方々も30名以上、生徒さんは延べですと800人以上にレッスンを行っていきます。ただ、まだまだこれをやっているということが浸透していないので、このチラシは外国人の方にもわかるように裏面には、英語、スペイン語、タイ語、韓国語、中国語、フィリピン語で書いております。やはり、母国語で書かれていると比較的に入りやすいということで、小中学校で児童生徒へ配っていただいて、そして保護者の方が近所の人にも話していただけるような形にしたいなというふうに思っております。チラシの内容はとりあえず1日、どういふものかという説明会を開くという内容です。かなり多くの方が、まだ家庭で両親が母国語で話しているのが日本語がなかなか子どもも覚えられない。親もジェスチャーだけで済んでしまうので、日本語を話さなくても、読み書きができないとか。学校からのお便りが理解できないとか、という方々への支援をしているので、そういう形でこれを認知していただけるようにしたいなという思いです。

(町長)

…ご苦労様です。

これは説明会の資料ですけれども、日頃行われているレッスンのスケジュールはどういうふうになっているのですか。

(早藤委員)

…これは先生と生徒の都合に合わせて、ほとんどマンツーマンでやっているのです、1年中開いていると考えていただければ。大人ですと仕事があるので夜を希望するとか、子どもさんですと学校が終わった後とか、あるいは土日とか。また、先生たちもボランティアですけれどもやはり家庭があるので、その先生たちとうまくマッチングしていくという形です。

(町長)

…これは必然というか、そういう社会になったということですね。

(早藤委員)

…そうですね。さきほど資料No.1-4でグローバル社会への対応が掲載されていましたが、教育委員会の事業なのか、地域政策課の事業なのか、両方リンクしなければいけないことだと思いますが。地域政策課にも非常に協力していただいて、城堀会館の施設も使いやすくしていただいています。

(町長)

…ある意味新しいコミュニティの世界ですよ。

大変でしょうけど、引き続きよろしく願いいたします。

## 6 閉 会